

平成21年度第2回江別市立病院経営健全化評価委員会（平成22年2月23日）の概要

平成21年度4月から1月までの経営状況、平成21年度3月補正予算案及び平成22年度予算案などのほか、中心議題である経営健全化計画の取り組み状況について事務局から報告し、各委員から指導・助言を受けました。

以下、平成21年度の経営状況と経営健全化に向けた主な取り組みなどについて、その概要を紹介いたします。

1、病院の経営状況

平成21年度は、内科医師の一部退職など診療体制の縮小から、診療収益が大幅に計画を下回り、約5億円の減収が見込まれております。

このことにより、不良債務及び資金不足比率の拡大が見込まれることから、病院経営再建への影響を考慮し、費用の削減と一般会計からの臨時的な基準外繰入金（平成21年度3月補正予算案に2億5千万円、平成22年度当初予算案に1億5千万円）などで対応することにしております。

2、経営健全化に向けた主な取り組み状況

(1) 平成21年度の主な取り組み状況

ア、医療体制の整備

- ・産婦人科常勤医師の確保
- ・前期、後期研修医の確保
- ・助産師、看護師の確保

イ、医療の質と信頼の向上

- ・産婦人科病棟内に分娩環境向上のためLDR室（2室）を整備
- ・新型インフルエンザ対策の実施
- ・医療機器の計画的な更新等整備

ウ、地域医療支援の充実

- ・健康セミナーの実施
- ・他医療機関からの検査受託対応の推進
- ・訪問診療、訪問看護の実施

エ、経営状況の改善

- ・産婦人科病棟の再開（分娩、婦人科入院再開）
- ・各種健（検）診等の推進（妊婦健診、乳がん検診、ほか）
- ・人工透析患者の受入増加
- ・7対1基準看護の取得

(2) 平成22年度に向けた方策等

- ・総合内科医の充足（後期研修医の招へい）
- ・循環器専門医の複数確保
- ・産婦人科医の複数体制化

- ・内科救急体制の充実
- ・訪問看護のステーション化
- ・病院ホームページのリニューアル
- ・南空知地域公的医療機関との連携の模索
- ・人工透析患者受入拡大への体制整備
- ・医師事務作業補助体制の拡充

3、各委員からの主な意見、指導・助言の内容

・経営的にはかなり厳しい状況にある。今回、市民の方々の大事な税金を臨時的に入れるので、それに甘えることなく頑張ってもらいたい。

・循環器や産婦人科の医師が来て、他の診療科にも影響し、相乗的な効果が期待できる。新たな医師が更に来ることを期待する。

・訪問看護のステーション化について、いま、在宅の方向に診療報酬が向かっているので、良い方向だと思う。

・高齢化社会の中で、病気が治ったらすぐ社会復帰ではないということで、リハビリの役割は大きい。リハビリ部門の体制強化を検討されると良い。訪問看護ステーションでのリハビリもニーズがある。

<総括的な意見>

今年度は、数字から見ると非常に残念な結果になりそうだが、その中においても将来に繋がる取り組みがされていて、そのいくつかは、次年度に結びつくとういうことが分かる。

今後は良い方向に行くんじゃないかと期待が持てる内容である。全てをここで背負わなければならないということではないので、他の医療機関との連携が非常に大事だと思う。